

2024
前期

堺高校の授業

リポート vol.15



堺高校は2008年、堺市立の4校(堺市立商業高等学校・堺市立第二商業高等学校・堺市立工業高等学校・堺市立第二工業高等学校)を統合し開校



機械材料創造科

10月26日(土)に予定している本校の中3年生対象オープンスクール体験講座では、<溶接体験>を開講します。アーク溶接を体験します。アーク溶接機は、使用されることが多い溶接機で、特徴は高温の強い光を発することです。安定した精度が見込めるこの技術を体験しましょう。

溶接

スポット溶接機
ホツチキスのように、ピンポイントで溶接する「圧接」のひとつ



半自動溶接機
溶接棒の供給が自動化され
トーチの操作に集中できる溶接



Tig溶接機
右側は、デジタル式
左側は、旧式のサイリスタ式
溶接電源



JIS溶接技能者評価試験

試験会場
堺高校 2号館／溶接2

[SN-1F]

10月6日(日)に実施の、JIS溶接技能者資格試験に向けて3年生が頑張っています(2号館／溶接2にて)。

今年もJIS溶接技能者評価試験(SN-1F)合格をめざし、プロの溶接職人さんとともに練習に励んでいます。この機会は、堺溶接協会の資格研修が本校を会場に行っていることから、協会のご厚意によって実現しています。未来の職人育成のため、地域産業界も高校生を応援してくださっています。

溶接資格は、種類が多く、必須というものから、管理職に必要な上級資格までさまざま。キャリアアップのため、溶接職に就いた後も、新たな資格を取得すべく、練習します。溶接によっては、労働安全衛生法などで定められた国家資格の取得「アーク溶接作業者」が必要となり、アーク溶接に携わるには、「アーク溶接等の業務に係る特別教育」の修了が義務づけられます。

ガス溶接に携わるには「ガス溶接技能講習」の修了(本校では卒業時に修了証が発行される(リポートvol.8参照))による国家資格「ガス溶接技能者」の取得が必要。

この他、ボイラーの溶接は、実務経験を積んだうえで、国家試験「ボイラー溶接士」を取得する必要があります。



SN-1F

半自動溶接(炭素鋼)	SN(裏当て無)	1:薄板(管) 3.2mm	F(下向) 基準級	専門級
SA(裏当て有)	2:中板(管) 9.0mm	V(立向)		
SC(初層Tig)	3:厚板(管) 25.0mm	H(横向)		
SS(セルシールド)		O(上向)		
		P(固定管)		

手溶接(炭素鋼)

半自動溶接(炭素鋼)

ステンレス鋼溶接

のうち、今回は

半自動溶接(炭素鋼) SN-1Fが

堺高校を試験会場に行われます。

本校は、その他専門級の溶接試験での試験会場でもあり多様な溶接機が揃っています。



3号館／溶接1

△まさに溶接すること、
その技術を学ぶ授業

1年生の授業【工業基礎:溶接】

溶接技術を使用して
作品を制作することを目的とした授業 ▽



2号館／溶接2